



2024 Ceramic Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan

Masahiro Maeda

前田正博展

色彩と模様ハーモニー

2024.9.22^{SUN} - 12.22^{SUN}

【開館日】水・木・土・日曜日 11:00~16:00(入館は15:30まで) 【休館日】月・火・金曜日

【会場】緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10 **入場無料**

【URL】<http://mam-museum.com> 〈お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880〉



鮮やかな色彩と模様が織りなす 豊かな色絵磁器の世界

「明るく 楽しく 美しく」は前田正博の作陶における哲学である。
その言葉の通り、彼の生み出す色絵磁器は、華やぎと驚き、独創に満ちている。
印象的なのは、鮮やかな色彩と柔らかさを感じさせる質感だ。これは、伝統的な
有田や九谷などの色絵とは異なり、洋絵の具を用いて描き上げるからこそ実現する。
釉薬をかけて焼成した磁肌にマスキングを施して色を置き、重ねる色の数だけ
焼成を繰り返すという独自の手法が、多重奏のようにその色彩を響き合わせるのだ。
今回の展覧会では、往年の名品から近年の作品までを網羅した。鳥やサボテン、
ヤシなどを親しみやすいタッチで描いたもの。赤や青、黒をベースに色数を絞り、
抽象的な幾何学模様を施したもの。時を経て変化を重ねつつも、明るく楽しく美しく、
見る人の目と心に彩りを与え続けるその魅力を実感できる展示となっている。
前田正博が織りなす比類なき色彩と模様のハーモニーを、どうぞご高覧ください。



Masahiro Maeda

前田正博 (まえだ まさひろ) プロフィール

- 1948 京都府久美浜町に生まれる
- 1975 東京藝術大学大学院工芸科陶芸専攻修了
第22回日本伝統工芸展 入選(以後40回)
- 1983 今日の日本陶芸展(スミソニアン博物館・ワシントン、
ヴィクトリア&アルバート美術館・ロンドン)
- 1988 第35回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞 受賞
- 1991 次代を拓くー新しい茶の造形展(日本橋三越・東京)(92,93年)
- 1992 日本の陶芸「今」百選展(三越エトワール・パリ、日本橋三越・東京)
- 1994 手の冒険展(宮城県美術館・宮城)
- 1996 現代日本陶磁秀作アジア巡回展(国際交流基金)
- 1997 伝統工芸新作展 鑑審査委員(2000,01,06,07年)
- 1998 第38回伝統工芸新作展 奨励賞 受賞
- 2000 前田正博展(大心苑美術館・茨城)
- 2002 日本伝統工芸展 鑑審査委員(2010,12,15,16,18,20,23年)
神奈川の陶芸 うつわの美展(神奈川県民ホールギャラリー・神奈川)
現代の陶芸100年展(岐阜県現代陶芸美術館・岐阜)
- 2003 Japanese Ceramics Today(菊池寛美記念 智美術館・東京)
- 2005 第1回菊池ヒエンナーレ 優秀賞 受賞
東京・六本木に工房を移転 六本木磁器倶楽部開催
- 2006 現代陶芸の粋展(茨城県陶芸美術館・茨城)
- 2007 前田正博色絵磁器展(アサヒグループ大山崎山荘美術館・京都)
- 2008 第2回智美術館大賞 現代の茶陶展 優秀賞 受賞
- 2009 第56回日本伝統工芸展 日本工芸会総裁賞 受賞
赤黒金銀緑青 前田正博の色絵展(菊池寛美記念 智美術館・東京)
- 2010 第17回MOA岡田茂吉賞展 MOA美術館賞 受賞
東日本伝統工芸展 鑑審査委員(2011,14,19,23年)
日本陶磁協会賞 受賞
- 2011 「カラフル×モノクロ 前田正博×日本画」展(佐野市立吉澤記念美術館・栃木)
- 2013 第8回「パラミタ陶芸大賞展(パラミタミュージアム・三重)
日本伝統工芸展60回記念「工芸からKOGELへ」展(東京国立近代美術館 工芸館・東京)
- 2015 第6回創造する伝統賞 受賞(日本文化藝術財団・東京)
- 2016 前田正博磁器研究所開催(横浜馬車道・神奈川)
現代日本の工芸 巡回展(国際交流基金)
- 2017 第37回伝統文化ポーラ賞 優秀賞 受賞(ポーラ伝統文化振興財団・東京)
平成の至寶八十三選(法相宗大本山 薬師寺・奈良)
- 2019 第68回神奈川文化賞 受賞(神奈川県&神奈川新聞社・神奈川)
- 2020 工芸2020 自然と美のかたち展(東京国立博物館 表慶館・東京)
第69回横浜文化賞 受賞(横浜市・神奈川)
- 2021 東京2020 NIPPON フェスティバル オンライン展示-工芸のミライー
「青・黄・黒・緑・赤 前田正博陶50周年 色の風景展」(神奈川県・神奈川)
- 2022 現在ノ茶陶 水指ト茶碗テン15(緑ヶ丘美術館・奈良生駒)
日本工芸会陶芸部会50周年記念 未来へつなぐ陶芸-伝統工芸のチカラ巡回展
- 2023 展示会「LEGEND OF DIAMONDS」ギフト制作(ヴァンクリーフ&アーベル)
- 現在 日本工芸会正会員、茨城県立笠間陶芸大学校顧問
石川県立九谷焼技術研修所 名誉講師
日本陶芸美術協会 副幹事長



色絵洋彩鉢



色絵洋彩花入



ふくろうの水指



色絵金銀彩輪花鉢



色絵金銀彩長角皿



色絵金銀彩鉢



●アクセス:〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉
〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通
バス『中菜畑二丁目行き』乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。

[パブリックコレクション] —————
アサヒグループ大山崎山荘美術館(京都)、茨城県陶芸美術館(茨城)、MOA美術館(静岡)、菊池寛美記念 智美術館(東京)、国際交流基金、佐野市立吉澤記念美術館(栃木)、東京美術倶楽部(東京)、法相宗大本山 薬師寺(奈良)、緑ヶ丘美術館(奈良生駒)、アジア美術館(アメリカ)、ウォルターズ美術館(アメリカ)、シカゴ美術館(アメリカ)、フィラデルフィア美術館(アメリカ)、ブルックリン美術館(アメリカ)、ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン(アメリカ)、アッシュモolean博物館(イギリス)